

セイタカヨシ

Phragmites karka (Retz.) Trin.

イネ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育地は県内の3河川のごく狭い範囲に限られる。(現況:R-)

形態

草丈は2~4mにもなり、稈も太くヨシよりさらに壮大である。葉身は鋭角的に斜上し、ヨシのようには先が垂れない。円錐花序は大型で長さ50cmを超え、小穂は長さ5~8mmでヨシよりも小さい。

国内分布

本州(山形県以南)~琉球。

県内分布

加賀中央区(浅野川)、南加賀区(梯川、大聖寺川)。

生態など

ヨシと同様に根茎を伸ばして群生する。花期は8~11月。

生育環境

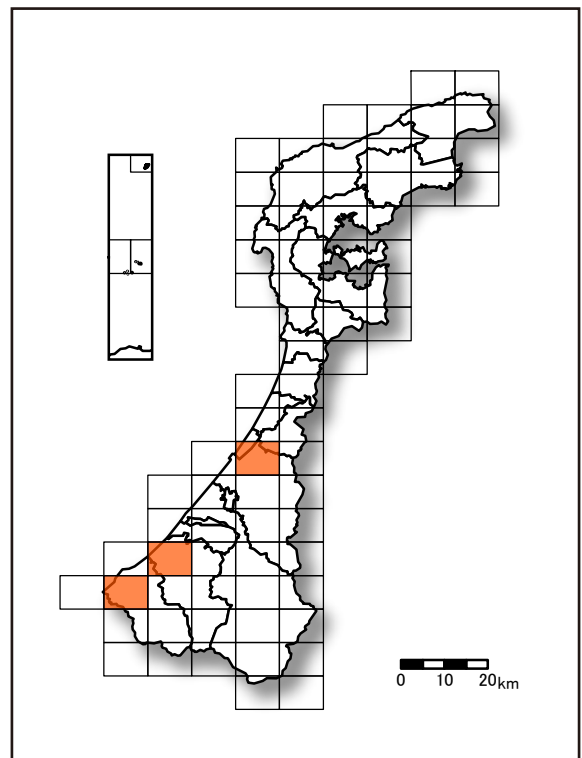
河川の高水敷や堤防上。ヨシよりは乾いた環境を好むようである。

危険要因

河川開発、土地造成。堤防や河川敷の管理に伴う群落の破壊が懸念される。



本多郁夫・2004年8月7日・小松市



県内の分布